

まちの情報とエネルギーを発信する

広報

おいしい

©i Town Public Relations

9

2015.9.1

vol.600

2 連覇達成

8月1日(土) 第29回大井よさこいひょうたん祭



旬感
NEWS

海の上での交流



8月1日(土)～3日(月)の3日間、秦野市・松田町・中井町・二宮町・清川村・大井町の中学生73人が東海大学の海洋調査船「望星丸」ぼうせいまるに乗り、洋上体験研修に参加しました。

救命具の使い方や船内での安全な過ごし方について説明を受けた後、船内見学や海洋観測、海洋講話があり、調査船の仕組みや海の生体系、水の大切さなどについて学びました。

また、船での生活は、約100人の食事の配膳や片づけ、清掃などを通じて互いに協力し合いながら活動し、

2日目の夜には班ごとに考えた出し物を披露する“洋上フェスティバル”も行われるなど、学校や学年を超えて交流を深めた3日間を過ごしました。

なお、今年は参加市町村の市町村長や教育長も乗船し、広域連携を通じた青少年育成について考える「洋上サミット」も同時に開催されました。洋上サミットでは、様々な体験活動を通して子どもたちの「生きる力」をばぐむために、1市4町1村の協力により、子どもたちの育成に努めることについて宣言がなされました。

みんなで箱根町を応援しよう!

現在、箱根町では大涌谷周辺での火山活動が活発化し、観光客が大幅に減少しており、観光業がきわめて厳しい状況にあります。規制区域以外は通常どおりの観光を楽しむことができますので、皆さんで箱根町を応援しましょう。



まちの情報とエネルギーを発信する広報おおい

CONTENTS vol.600 September 2015

- 03 第29回大井よさこいひょうたん祭
- 06 広報おおい 600号
- 08 国民健康保険・後期高齢者医療保険制度からのおしらせ
- 10 夏休み子どもチャレンジウィーク
- 12 野生鳥獣による農作物への被害を防ぎましょう
平成27年10月5日マイナンバー制度スタート
- 13 国勢調査2015 / 「地域を守る」消防団!
- 14 まちかど **Report**
- 15 国民年金からのおしらせ
- 16 **TOWN TOPICS** / プチ☆**Photo News**
- 18 教室からこんにちは / まなびやそうわ
- 19 町長発詞 / 燃えろ! スポーツ魂
- 20 保健師 *memo* / まちの文芸 / 図書館だより
おたより紹介
- 22 まちがいさがしに挑戦
- 23 9月の行事予定 / 編集おおい
- 24 おおいの煌人^{キラビト} / おおい自然園

天使のほほえみ *Angel smile*



「仲良し兄妹」^{きょうだい}

左から 杉本 菜々ちゃん(2歳)(上大井)
英琉くん(4歳)

3歳までの天使の写真募集!
町民課 ☎ 85-5004



よさこい踊りコンテスト ひょうたん大賞 高知県知事賞 ラヴリィキッズB

第29回 大井よさこいひょうたん祭



ジュニア&キッズダンスフェスティバル 大賞 ALL GOOD KIDz



正調踊りの部最優秀賞神奈川県知事賞 いせはら舞呼



8月1日(土)、役場周辺を会場として「第29回大井よさこいひょうたん祭」が開催され、およそ3万人の方が来場しました。

天候に恵まれたこの日は、朝からグングン気温が上がり、午前中に30度を突破。まさに夏祭り日和となりました。

オープニングに先立ち12時から開催された「ジュニア&キッズダンスフェスティバル」には、県内各地から23チーム355人が参加。トップバッターのちびっこギャングが元気いっぱいダンスを披露すると、これに続いて各チームがすてきなダンスを見せてくれました。その中で、開成町から出場した5人組のロックダンスチーム「ALL GOOD KIDZ」が大賞に輝きました。

オープニングセレモニー終了後、17時からは「ひょうたん踊りコンテスト」が行われました。今年も、町内外から29チーム847人の踊り手が参加し、息

第29回 大井よさこい ひょうたん祭





よさこい踊りコンテスト結果

ひょうたん大賞 高知県知事賞	ラヴリィ・キッズB
金賞	相和 with メドレー響
銀賞	聯(れん)
銅賞	南風連
大井町長特別賞	防人踊り隊
大井町議会議長特別賞	ラヴリィ・キッズA
審査員特別賞	上大井向上
審査員特別賞	根岸下笑舞連
審査員特別賞	JAかながわ西湘女性部
審査員特別賞	大井支部・大井支店職員
審査員特別賞	市場よっちょれチーム

正調踊りの部

最優秀賞 神奈川県知事賞	いせはら舞呼
優秀賞	新宿よさ来い連

ジュニア&キッズダンスフェスティバル結果

大賞	ALL GOOD KIDz
金賞	CRAY★BRATZ
銀賞	SC-K. MONSTERS
銅賞	プリティキッズ・クィーン
パフォーマンス賞	プリティキッズ・ハート
チームワーク賞	レインボーキッズ

の合った情熱的なよさこい踊りを披露しました。結果は、ラブリーキッズBがひょうたん大賞を受賞し、昨年に続き2連覇を達成しました。受賞した子どもたちは「優勝できると思っていませんでしたが、一生懸命練習してよかったです」とニコニコ。ステージに上がると全員で喜びを爆発させていました。

今年もひょうたん祭は東日本大震災の復興支援を掲げ、福島県富岡町の「チーム富岡さくらYOSAKOI」を招待しましたが、今年で3回目の出演となりますが、メンバーは毎年ひょうたん祭を楽しみにしているようで、この日も迫力ある踊りを会場で披露してくれました。

また、祭りの開催にあたっては、湘光中学校吹奏楽部や上大井祭囃子保存会の演奏、ひょうたん文化推進協議会による夢太鼓やひょうたん踊りの披露など、関係団体の出演が会場を盛り上げてくれました。

今年も大勢の方が参加して作り上げたひょうたん祭は、大成功で幕を閉じました。来年は30回の記念開催となります。盛大な祭りとなるよう、多くの方に参加していただけることを願っています。



おおい 600号

広報

町の広報紙は、昭和31年4月に金田村、相和村、曾我村の上大井と西大井が合併し、「大井町」が誕生してから11か月後の昭和32年2月1日に「大井町だよりおおい」として創刊号が発行されました。そして、今月号で600号を迎えることができました。そこで、501号から現在までの出来事と現在の広報紙の各コーナーの始まりを紹介いたします。



創刊号(第1号)
昭和32年2月1日発行

記念すべき創刊号は、B5版の4ページで、表紙には飯山藤三大井町初代町長の「発刊のことば」が掲載され、町民と行政とのかけ橋とし、広報活動を生かしたいと述べています。そして「新庁舎落成に寄せて」や「予算」、「病虫害予防対策」などが掲載され、「大井町教育委員会便り」も一緒に掲載されていました。



第100号
昭和48年12月1日発行

100号は、B5版の12ページで、現在と同じ「広報おおい」として発行されています。100号の特集が組まれ、「第一生命の誘致」や「町章きまる」、「東名高速道路の開通」、「町制15周年記念式典」などの広報の記事から町政のうつりかわりを振り返りました。



第200号
昭和57年3月1日発行

B5版の16ページで作成され、200号の特集記事から始まり、「第22回大井町産業まつり」が大井小学校で行われた模様や、スポーツニュースでは「第10回こども駅伝大会」の結果、大井町の昔ばなしで「赤坂の伝説」が掲載されていました。



第300号
平成2年8月1日発行

300号も大きさはB5版14ページで作成されていました。平成元年4月号から創刊された「公民館だより」が一緒にとじこまれ、文化の発信も積極的に行われていました。表紙には、消防団の活動風景が掲載され、防災の日を前に地震や消防、自主防災の特集が組まれていました。



第400号
平成11年1月1日発行

400号になると、大きさは現在と同じA4版になり14ページで作成されています。1月号であることから間宮恒行町長と石田昭議会議長の年頭のあいさつから始まり、「20歳のメッセージ」が最終面に掲載されていました。



第500号
平成19年5月1日発行

500号もA4版24ページで発行されていました。500号記念の記事と、町制50周年記念事業のエンディングセレモニーの様子が紹介されていました。「町長発詞」や「間違い探し」など現在の広報にも連載しているコーナーがあります。





501号から600号までの主な出来事

広報おおい513号
(平成20年6月1日)



新しい学校給食センターが稼働しました
2300食の調理が可能な施設で、ドライシステムやオーブン電化厨房を採用し、衛生面に配慮した施設が完成しました。

広報おおい558号
(平成24年3月1日)



中央公民館が「生涯学習センター」になります
多様化する町民ニーズに応じて、幅広い用途で利用できる「生涯学習センター」になりました。

広報おおい559号
(平成24年4月1日)



大井町農業体験施設四季の里オープン
現在、直売所や「四季の里まつり」でも活用している「大井町農業体験施設四季の里」が完成しました。

広報おおい568号
(平成25年1月1日)



大井町産スイーツ発表
大井町の農産物を使ったスイーツ作りで12品が完成し、お披露目となりました。

広報おおい571号
(平成25年4月1日)



広域消防体制スタート
小田原市消防と足柄消防組合は統合し、県西地域2市5町（小田原市、南足柄市、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町）を管轄する「新たな小田原市消防」としてスタートしました。

広報おおい583号
(平成26年4月1日)



新たな交流へ
足柄紫水大橋開通
足柄紫水大橋開通にともない開通式典が行われ、南足柄市・開成町と新たな交流が始まりました。

広報おおい584号
(平成26年5月1日)



きらめきの丘おおい発電開始
きらめきの丘おおいの運転開始式が行れ、県西地域初のメガソーラーが誕生しました。

広報おおい597号
(平成27年6月1日)



足柄大井ソーラーウェイ完成
篠窪に日本アジアグループ㈱が建設を進めていたメガソーラー施設「足柄大井ソーラーウェイ」が完成しました。

501号から600号までの主な出来事





旬感ニュース

旬感ニュースは平成25年1月号から登場。最初のニュースは、21年ぶりに町の重要文化財に指定された「上大井三嶋神社 算額」でした。



天使のほほえみ

天使のほほえみは平成14年4月号から登場。2人の男の子が紹介されていました。現在まで302人の天使を紹介してきました。



町長発詞

「町長発詞」は平成12年4月の「介護保険を思う」から始まり、毎月、町長が執筆し、今月で148回目を迎えます。



燃える!スポーツ魂

「燃える!スポーツ魂」は平成25年1月から始まったスポーツコーナーで、柔道・剣道・野球・サッカー・空手など多くの町民の方の活躍を紹介してきました。



保健師memo

昭和53年6月号に「保健婦の健康メモ」というタイトルで始まりました。第1回のテーマは「健康づくり」でした。37年前から身の回りの健康や栄養などについて掲載してきました。現在の「保健師メモ (memo)」になったのは平成24年1月からです。



現在の広報おおいとは?

現在も毎月発行されている「広報おおい」で毎月紹介されている主なコーナーは、それぞれいつからスタートしたのか紹介します。一番長いコーナーは何のコーナーでしょうか。

TOWN TOPICS & プチ☆Photo News

現在の「TOWN TOPICS」の名称になったのは平成25年1月号からですが、「まちのわだい」「TOPICS of TOWN」など名称を変えながら、行事など町のたくさんの情報を掲載してきました。「プチ☆Photo News」は平成23年9月から「プチ★フォトおおい」の名称ではじまりました。



教室からこんにちは まなびやそうわ

「学校からこんにちは」という名前でスタートしたのが平成22年6月号。大井小学校が第1回でした。当時も今と変わらず、学校内での児童の取り組みなどが掲載されていました。現在の「学校からこんにちは」になったのは平成25年1月号からです。





国民年金〇×クイズ

現在掲載されているコーナーの中で、国民年金の記事が最も古く、昭和52年8月の「年金通信」からコーナーが始まりました。また、それ以前も「くらしの話題」などで掲載されてきました。



まちがいさがしに挑戦!

現在の「まちがいさがしに挑戦!」のようなまちの行事や風景をもとにしたまちがいさがしは、平成17年5月号から始まりました。それ以前にはクロスワードクイズなどがありました。



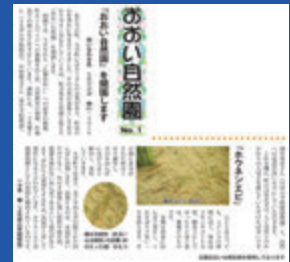
大井の煌人

コーナーとしては、平成24年11月から始まりました。最初の煌人は、小田原ボーイズに所属していた当時湘光中2年生の高橋瀬那さんと後藤大青さんでした。



おおい自然園

平成22年7月から始まったおおい自然園は動植物・岩石・地層など読者に大井町の豊かな自然を紹介しています。第1回に紹介されたのは「ハウネンエビ」でした。



まちかどReport

平成16年10月に結成されたまちかどリポーター。初めて登場したのが平成16年12月号。最初の記事は「新宿のあけび」でした。



図書館だより

平成16年5月から公民館だよりが掲載され、その中に「今月の新着本」コーナーがありました。平成22年4月から「生涯学習だより」、平成23年11月から「図書館だより」となりました。



まちの文芸

「おおい文芸」として名前が平成16年5月から掲載が始まりました。現在と同じ短歌と俳句を掲載しております。現在の「まちの文芸」になったのは、平成25年1月号からです。



ホームページで広報おおいのバックナンバーが見ることができます。(広報おおい平成12年4月号～)

ホームページ

http://www.town.oi.kanagawa.jp/chosei/kouho_ooi/index.html



夏休み 子ども チャレンジウィーク

26日 おやこもっこうきょうしつ 親子木工教室



生涯学習センターで『親子木工教室』を開催しました。親子41人が午前の部、午後の部の2回に分かれて参加し、3種類の木工製品(船、踏み台、CDラック)から1つを選び作成しました。大工さんに工具の使い方を教えてもらいながら、親子で協力して世界にひとつだけの作品に仕上げていました。参加者からは、「木を切ったり、釘を打ったりするのが難しかったけれど、上手にできてよかった」「将来大工さんになりたい」などの感想があり、物づくりの楽しさを感じるひとときとなりました。



25日 かわい川の生きものしらべ



足柄紫水大橋付近の酒匂川で「川の生きものしらべ」を開催し、小学3年生以上34人が参加しました。2週間前に降った大雨の影響で、川は白濁し増水していましたが、サポーターや大井小学校の先生方が安全確保をしてくださり、安心して生きもの採取、観察、スケッチをすることができました。シマドジョウをはじめ、モクズガニやヒラテテナガエビなども見付き、酒匂川に棲む生きもの的一端を知ることができました。



7月25日(土)～8月10日(月)の17日間を、子どもチャレンジウィークと位置付け、11の事業を開催したところ、町内の小中学生や保護者など延べ467人が参加しました。

夏休みの時間を使い、普段ではできないことを体験・挑戦し、一回りも二回りも大きくなって、9月を迎えたことと思います。

新しい知識を身につけ、多くの思い出をつくり、大変貴重な経験ができたことでしょう。



7月

6日 かがくきょうしつ 子ども科学教室



生涯学習センターで「子ども科学教室」を開催し、小学4～6年生15人が参加しました。

なぜロケットが飛ぶのか、なぜ水鉄砲の水が飛ぶのかなどの原理を学び、その原理を利用してペットボトルロケットや水鉄砲を作りました。また、ペットボトルロケットを飛ばす時は、どのようにすればより高く飛ぶのかを参加者自らが考え行動していました。

参加者からは、「楽しかったので、また参加したい」「ペットボトルロケットを高く飛ばせたのでうれしかった」などの感想がありました。



5日 つくってあそぼう!



生涯学習センターで「つくってあそぼう!」を開催し、幼児から小学生まで200人を超える参加がありました。身近にある割りばしや厚紙、タコ糸、ビー玉などを使って「割りばしでっぼう」や「パラシュート」、「たわらころがし」、「動くコップ」、「風車」などを作って遊びました。

参加者からは「作った割りばしでっぼうで的あてができて楽しかった」「ビー玉の使い方によって動くおもちゃが作れて面白かった」など、笑顔があふれていました。



4日 おやこりょうりきょうしつ 親子料理教室



生涯学習センターで「親子料理教室」を開催し、10組22人の親子が参加しました。食育推進ボランティアの指導のもと、卵焼き・煮込みハンバーグ・三色おひたし・ジャーマンポテトなどを作りました。

参加者からは、「親子で楽しめた」「普段は野菜を食べない子どもが、自分で作ったおかげがよく食べた」などの感想もあり、満足・満腹の時間を過ごせたのではないのでしょうか。



8月

30日 1日図書館員体験 としょかんいんたいけん

7月30日(木)、8月5日(水)・7日(金)町図書館で1日図書館員体験を開催し、小学4年生～中学生14人が参加しました。開館準備、窓飾りの制作、カウンター業務、本の受け入れ作業などをしました。

図書館は、本の貸し出しや返却のほかにも色々な仕事をしています。普段は見ることのできない図書館の仕事を楽しみながら体験できました。



29日8月5日 子どもエコ・スクール

7月29日(水)第2回講座を開催し、きらめきの丘おおいを見学したり、四季の里でソーラーミニカーを作成したりしながら地球温暖化について学びました。8月5日(水)には第3回講座を新日鐵住金君津製鉄所あつせんで開催し、参加した児童は、圧延作業を行う工場やプラスチックのリサイクルを行う施設を見学しました。



7月29日(水)の様子



8月5日(水)の様子

28日 おおい歴史探検隊 れきしたんけんたい

神奈川県埋蔵文化財センターの職員を講師に「おおい歴史探検隊」を開催しました。参加者12人は、午前中はミニ土偶形容器づくり体験を、午後は大井町の遺跡についてのクイズや実際に土器などに触れる体験を行いました。

ミニ土偶形容器作りでは、オーブンを使って焼き上げることができる粘土を使い、一人ひとりが自分なりの土偶を作り上げることができました。国の重要文化財として指定されている中屋敷遺跡の土偶形容器について理解を深めるよい機会となりました。



11日 夏の星座観察会 せいざかんさつかい

生涯学習センターでおおい課外塾「夏の星座観察会」を開催し、小学3～6年生21人が参加しました。

今年は、両日とも悪天候だったため、予備日に生涯学習センター第3・4会議室で講師の富川孝治さん(山北町社会教育指導員)のご指導のもと、夏に見られる星や星座について学習をしました。夏の代表的な星座である「はくちょう座」「こと座」「わし座」の位置や形などの説明を聞いたり、星座にちなんだ工作をしたりしました。

また、この時期に見られるペルセウス座流星群や土星についても模型を使って詳しく説明していただきました。望遠鏡を使った観察の練習もできたので、星や星座への関心が深まるよい機会となりました。



3～7日 子ども水泳教室 すいえいきょうしつ

8月3日(月)～7日(金)上大井小学校プールで「子ども水泳教室」を開催し、町内小学校2・3年生、34人が参加しました。

今年は天候にも恵まれ、予定していた5日間全てを実施することができました。オリンピック選手の指導にあっていた河合正治先生他4人の講師にバタ足の仕方から手の動きまで丁寧な指導をしていただき児童も一生懸命に先生の話聞きながら頑張ったため、児童全員がレベルアップしたことを自覚していました。

最終日には友達の応援を受けながら25mを泳ぎきり、声をあげて喜んでいた児童もいました。



7日 防災体験教室 ぼうさいたいけんきょうしつ

「防災体験教室」を開催し、町内小学校の4～5年生、30人が参加しました。

午前中は、小田原市消防本部にて、消防車両の見学や、装備品の試着、119番通報の模擬体験などをし、午後は、御殿場市にある陸上自衛隊駒門駐屯地にて、自衛隊の災害復旧活動のビデオ鑑賞や講話、救助機材の体験などをしました。普段、なかなかできない体験を通じて、「防災」を考えるきっかけになってくれたと思います。



野生鳥獣による農作物への被害を防ぎましょう

地域振興課 ☎ 85-5013

相和地区を中心にシカやイノシシ、ハクビシンなどの野生鳥獣による農作物への被害が増加しています。町では、こうした被害の拡大を防ぎ、農作物の安定生産を図るため、次のような取り組みをしています。ぜひ、ご活用ください。

また、町内の被害状況の把握を行っていますので、被害を受けた方は、地域振興課にご連絡ください。

防護柵設置の推進

野生鳥獣の侵入を防ぐための防護柵（電気柵、網など）の購入費の一部を補助します。

- ①補助対象者：町内に住所を有する農業者で、町税等を滞納していない方
- ②補助金算出方法：設置しようとする農地の面積がおおむね1,000㎡以上で、柵の敷設距離1mあたり500円を限度とします。

例) 柵の敷設距離が120mの場合

120m × 500円 = 60,000円 が限度額

※補助を受けられる場合は、防護柵を設置する前に、必ず地域振興課にご相談ください。

○野生鳥獣捕獲の推進

イノシシ、シカ、ハクビシンなどを捕獲した方に、補助金を交付します。

①補助金額

- ・イノシシ、シカ → 1頭 5,000円以内
- ・ハクビシン、その他町長が認める小動物 → 1匹 2,000円以内

②補助対象者

町内に住所を有し、かつ、町税などを滞納していない方で、次のいずれかに該当する方

- ・狩猟登録者で期間中に町内で野生鳥獣（シカ、イノシシに限る）を捕獲した方
- ・野生鳥獣捕獲の許可を受け、町内で野生鳥獣を捕獲した方

※ 捕獲した場合は、速やかに地域振興課で確認を受けてください。

※ 小動物の箱わなは、町で貸し出ししています（数に限りがあります）。

平成27年10月5日マイナンバー制度スタート

住所地に住んでいない方へ

町民課 ☎ 85-5006



マイナちゃん

平成27年10月以降に、マイナンバーを通知カードでお知らせします。通知カードは、住民票の住所地に、簡易書留により、世帯ごとに送られます。やむを得ない理由で、住民票の住所地で通知カードを受け取ることができない方は、次の期間中に町へ申請してください。

申請が必要な方

- 東日本大震災による被災者で、住所地以外の居所に避難されている方
- DV、ストーカー行為など、児童虐待などの被害者で、住所地以外の居所に移動されている方
- 一人暮らしで、長期間、医療機関・施設に入院・入所されている方

期間 9月25日(金)まで

方法 居住情報登録申請書を郵送か直接

※ 申請書は町ホームページか町民課窓口にあります。

(<http://www.town.oi.kanagawa.jp/kurashi/mynumber/mynumber.html>)



★大井町子ども・子育て会議の概要について★

子育て健康課 ☎ 83-8011

7月22日(水) 13:30から大井町保健福祉センターで、平成27年度1回目の子ども・子育て会議を開催しました。会議資料や会議概要を町のホームページに掲載しましたのでご覧ください

特定健診は毎年受けましょう!

特定健診は、メタボリックシンドロームに着目した健康診断です。

ご自身の生活習慣を振り返る大切な機会となりますので、年に1度は必ず特定健診を受けましょう。

国勢調査 2015

インターネット回答にご協力ください

企画財政課 ☎ 85-5003

今回の国勢調査から、従来の調査員への提出・郵送で提出する方法のほかに、インターネットでもご回答できるようになりました。また、パソコンだけでなくタブレット端末やスマートフォンからも回答できます。

インターネット回答のための書類が届きましたら、インターネット回答のできる世帯は、回答期間内に回答をお願いします。

なお、調査を行う国勢調査員は市区町村の推薦に基づいて総務大臣が任命した非常勤の国家公務員です。もれなく・重複なく調査を行うために、訪問時に代表者の氏名と世帯の男女の人数をおたずねします。

国勢調査については、「国勢調査 2015 キャンペーン サイト」をご覧ください。

<http://kokusei2015.stat.go.jp/>

国勢調査 2015

検索

国勢調査員が着用している腕章(見本)



国勢調査員証をさげている青色のひものデザイン(見本)



国勢調査員は下のような国勢調査員証を身につけています。(見本)



国勢調査員が持ち歩く手さげ袋(見本)



いつでもどこでも、便利に回答。
パソコンやスマホでの回答を可能に!
インターネット回答は

9月10日～20日

9月上旬～12日
インターネット回答用IDを配布

9月10日～20日
インターネット回答

インターネット回答がなかった世帯には
調査員が調査票をお配りいたします!

調査票での回答は

10月1日～7日

9月26日～30日
調査票を配布

10月1日～7日
調査票を提出



『地域を守る』消防団!



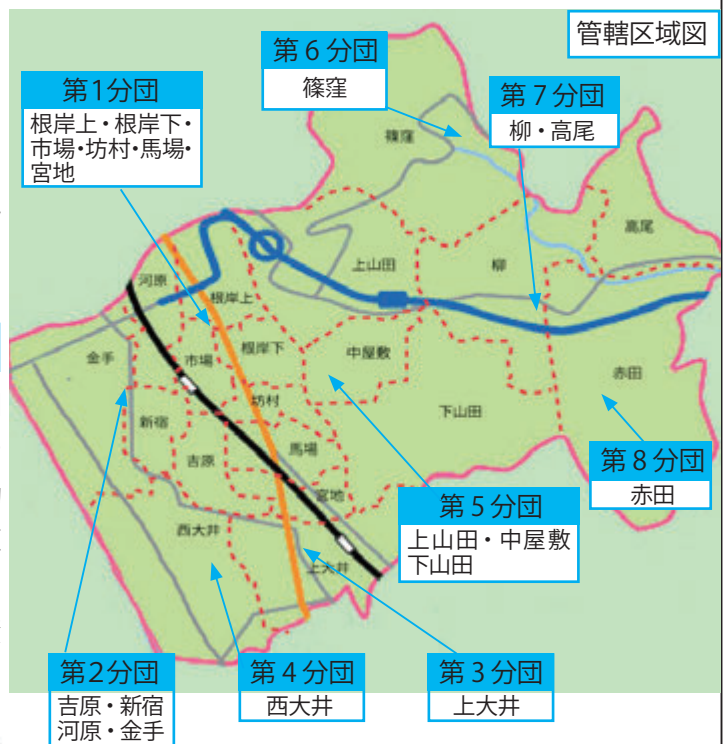
防災安全室 ☎ 85-5002

私たちの地域を守る『大井町消防団』のことを皆さんに知っていただくため、消防団の活動を紹介していきます。

第1回・消防団ってどんなことをしているの!?

大井町消防団は、全体をまとめる本部と8つの分団があり、火災や災害時の出動はもちろん、様々な訓練や火災予防運動など、町の安全・安心のため幅広い活動をしています。火災等の災害が発生した場合は、小田原市消防本部(常備消防)と連携し、対応にあたっています。

消防団は、いつ起こるかかわからない災害に備えて、資機材をベストの状態に保ち、様々な訓練を実施しています。



消防団の活動は、町ホームページでもお知らせしています http://www.town.oi.kanagawa.jp/kurashi/shobo_kyukyu/enkaku.html



発信する地域 赤田

四季の里直売所に、相模半白節成胡瓜が販売されていた。それを見て昭和30年代、河原に露木相模半白胡瓜と命名された改良種を普及させた篤農家があったことを思い出した。各地から見学者が訪れたと聞く。伝統野菜である。根元が緑で先にいくにしたがって白くなる。食感が瑞々しく、歯応えのある胡瓜である。神奈川県下で普通に栽培されていた。それが昭和40年代以降緑の濃い胡瓜に変わってから急速に姿を消していった。



生産者の赤田の夏苺稔さん、健司さん親子を訪ねてみた。息子の健司さんに畑に案内されて、栽培を始めた経緯を伺った。

「農業に従事して、この胡瓜の種に出会い、何か地域に

新しい農作物をつくってみたいと考えて始めた。農業の経験が浅いので、地域の方々の指導や伝統野菜栽培の方々の助言などを受けて、栽培を続けている。栽培が難しく、試行錯誤の連続です。実成を良くして、出荷量を多くする努力をしているところです。消費者に半白胡瓜の美味しさを知ってもらうための方策を考えながらやっている。農産物のブランド化も考えていきたい。」と穏やかに語っていた。

帰りがけに四季の里の販売所に寄って見ると、大量に購入の方がいて売り切れたとレジの方が云っていた。

(まちかどリポーター 檜佐義明)



社協デイサービスのクラフト教室にお邪魔して

8月18日(火)大井町社会福祉協議会のデイサービスに通うご利用者さんの作品作り教室がありました。通常は職員が創意工夫し、アイデアを出して教室などをしてい



るようですが、ちょうどこの月は小学校が夏休み中でしたので、大井小学校4年生の中津川さんと小金さんが講師となり大井町のシンボルのひょうたんを使った「ひょうたんの墨流し」を教えてくださいました。

お年寄りを相手に汗をかきながら、こわばった顔で一生涯懸命説明をしていました。ご利用者さんも孫やひ孫のような講師に終始嬉しそうに聞き入っていました。

水をはったバケツの中に好みの色の油性ペンキを流し込み、割り箸とティッシュで持ち手を作ったひょうたんを流し込んだペンキに巻き込むと、世界でたった一つの墨流しひょうたんができ上がりました。ひょうたんの墨絵を何度も覗き込んで、「綺麗」と言っておられました。終了後には「難しかったですか?」と伺うと「いいや楽しかったよ。

初めてやったけど良いのができた」などと会話が弾んでいました。小学生の2人は、おじいちゃん・おばあちゃんと同居しているためかお年寄りとの会話がスムーズにできていました。

また社会福祉協議会のサマーチャレンジセミナーとも重なり、中学生(女性3人)も折り紙のきり絵をご利用者さんと体験されたそうで、このひょうたんの墨流しも一緒に体験しました。

高齢化が進むなか幼い時から高齢者と触れ合い、いろいろな福祉を体験することで「思いやる心・いたわる心・優しい心・相手を理解する心」を培うことができると思います。今日の経験は小学生・中学生・高齢者にも思い出に残る一日だったと思います。

(まちかどリポーター 中津川晴江)





不審電話は、みんなの個人情報
を聞き出そうと、親切で巧妙な
語り口で話してくるから、細心の
注意が必要だよ！すぐに相談しよ
う！



国民年金からお知らせ

日本年金機構小田原事務所 ☎ 22-1391
町民課 ☎ 85-5007

「年金情報流出」を口実にし
た犯罪にご注意ください！

「年金情報流出」を口実にした犯罪
にご注意ください！

日本年金機構を名乗って口座番号
を聞き出そうとする者や、「流出し
た個人情報を削除してあげる」と持
ちかけてくる者が現れています。

・日本年金機構から、この件でお客
様に電話やメールで連絡すること
は、一切ありません。なお、流出が
確認された方への新しい基礎年金番
号は、郵送でお知らせします。

・日本年金機構が、この件でお客
様にお金やキャッシュカードを要求す
ることは、一切ありません。

・日本年金機構が、この件でお客
様にATMの操作をお願いすること
は、一切ありません。

ご自分の情報が流出しているの
は？など、ご心配の方は、左記専用
電話窓口または小田原年金事務所へ
ご相談ください。

不正アクセス専用
コールセンター
☎ 0120-818211
(フリーダイヤル)
時間 8:30 ~ 21:00
(平日および土日)
※ 間違い電話が多くなっ
ています。おかけ間違い
にご注意ください。

Q & A

Q1. 今回の不正アクセスにより、
私の年金そのものがなくなったり
減ったりすることはないので
すか。

A1. 今回の不正アクセスにより、
皆さんの年金そのものがなくなつた
り、減ったりすることはありませ
ん。皆さまへの年金支払いの基となる
年金記録を管理するシステムからの
情報の流出や年金記録の改ざんは、
確認されていません。

なお、流出した基礎年金番号は、
新しい番号に変更いたします。番号
が変わっても、皆さまの他の年金記
録は変わりません。

Q2. 流出した情報を使い、他人が
なりすますことで、私の年金が横取
りされることはないのですか。

A2. 横取りにより、皆さまに年金
が支払われないことは、ありません。
年金は、ご本人に確実に支払います。
年金は、ご本人名義の口座に振り
込みます。流出した情報を使い、他
人が年金の振込先を変更することは
できません（振込先を変更するため
には、金融機関の証明印やご本人の
預金通帳の写しなどにより、日本年
金機構がご本人の口座であることを
確認します）。

不審・不明な点があれば、日本年
金機構専用電話窓口や小田原年金事
務所へお問い合わせください。

国民年金保険料「10年の後納 制度」は9月30日まで

「10年の後納制度」は、過去10年
間に納め忘れた国民年金保険料を納
付することができる仕組みです（本
来、国民年金保険料は2年を経過す
ると時効により納付することができ
ません）。この制度を利用すれば、
将来の年金額を増やすことができま
す。

「10年の後納制度」は、平成27年9
月30日をもって終了します。終了
後、平成27年10月1日から3年間に
限り、過去5年間に納め忘れた国民
年金保険料を納付することができます
。「5年の後納制度」が始まりますが、
10年の後納制度よりも納付できる期
間が短く、保険料の加算額が高くな
ります。
なお、老齢基礎年金を受給してい
る方などは、後納制度の利用はでき
ません。

後納制度を利用するには、
申し込みが必要です。
詳しくは、☎ 0570-011-050
(国民年金保険料専用ダイヤル) またはお近くの年金
事務所へお問い合わせくだ
さい。

わたしと年金「エッセイ募集 くあなたと公的年金のエピソードを お聞かせください」

日本年金機構では、広く国民のみ
なさまに公的年金制度との関わりを
あらためて考えていただく機会とし
て、「わたしと年金」をテーマにエッ
セイを募集しています。応募者ご自
身やご家族の公的年金制度との関わ
りや、公的年金の大切さなどに関す
るエピソードをお待ちしています。

応募作品の中から厳正な審査のう
え、表彰状の授与および記念品を贈
呈するほか、日本年金機構ホーム
ページに受賞者名とその作品を掲載
します。また、受賞作品を冊子にし
て、全国の年金事務所へ設置する予
定です。
募集についての詳細は、日本年金
機構ホームページをご確認ください
。たくさんのお応募をお待ちして
おります。

資格 中学生以上
申込 9月18日(金)までに下記へ必要
事項を記入し、郵便(締切日消印有効)
〒168-8508
東京都杉並区高井戸西3-5-24
日本年金機構サービス推進部サービス推
進グループ「わたしと年金」担当
主催 日本年金機構
後援 厚生労働省、文部科学省、全国
高等学校長協会、全国都道府県教
育委員会連合会
※詳細については、日本年金機構ホ
ムページをご覧ください。



夏のおたのしみお話し会

7月25日(土)に「夏のおたのしみお話し会」が生涯学習センターで行われ、紙芝居ドリームと湘光中学校ボランティア部の生徒が紙芝居や手話の歌などを披露しました。「ようかい体操第一」では、参加者が一緒になって踊るなど会場全体が楽しい雰囲気に入れられ、会の終わりにはボランティア部の生徒が参加したお子さんに、手作りのプレゼントを渡しました。

フーンさんのベトナム料理教室

きらめき未来塾～食から世界を知ろう～

8月8日(土)生涯学習センターでベトナム料理教室が開催されました。空芯菜のニンニク炒め、生春巻き、ベトナム風のお好み焼き(バインセオ)などの家庭料理を作りました。講師のドン・ティー・フーンさんからはベトナムの調味料の話やライスペーパーのもどし方、上手な巻き方などを指導してもらい、「日本の調味料でもベトナムの味つけができることがわかった」など大好評でした。また、食文化や風習との違いなども明るく楽しく教えていただき、料理作りから食文化に親しみ、国際理解を深める大変よい機会になりました。



最新の建設機械が勢揃い

7月21日(火)大井町子ども会育成者連絡協議会主催の社会見学「働くのりもの見学会」が行われました。小学6年生の子ども会加入者24人は、コマツテクノセンタを訪問し、コマツの建設機械が世界中の建設現場や、地雷除去活動などで活躍していることを学びました。また、最新機械の紹介では、機械を見たり触れたり、一部の機械の運転席に乗り、ハンドルやウインカーの操作をしました。運転手の方からは「免許がなくても運転できる乗り物がある」などの豆知識を教えてくださいなど貴重な体験となりました。

町民課の窓口で大井町をPR

役場町民課の窓口で、町のPR用のデジタルフォトフレームを設置しました。フォトコンテスト入賞作品やひょうたん祭の様子、おおいゆめの里の動植物など、大井町を感じることができる写真を展示しています。

今後も定期的に写真を更新し、町のできごとや魅力を伝えていきたいと考えていますので、役場にお越しの際はぜひ、ご覧になってください。



☆写真で1か月を振り返るコーナー☆

プチ☆Photo News



乾電池で自転車走行

8月2日(日) 鈴鹿サーキットで電池自転車の耐久レース「Ener-1GP」が行われ、大井町から吉村佑汰さん・日下歩さん(チーム大井)。諸星美紀さん(JSガールズ)が出場し、中学生部門で5位と2位に入りました。



□■□

まちのために

6月24日(水)に金子金手共有財産管理委員会から寄付がありました。この日、当委員会は町長を訪れ寄付金を手渡されました。



□■□

世界遺産の自然を満喫

8月9日(日) 青少年指導員協議会主催によりジュニアリーダーの親子3組と青少年指導員ら11人で富士登山をしました。日本一高い山を親子で登頂した達成感、格別な夏休みの思い出になりました。



□■□

五代塾版「オズの魔法使い」舞台公演

8月9日(日)生涯学習センターホールで行われた舞台公演は、地域の方で組織された実行委員会によって、周知や入場券販売、準備・運営などを行い昼・夜の部とも大盛況で、会場が笑い感動に包まれました。



2年ぶり総合優勝

7月12日(日)・26日(日)の2日間、足柄上郡体育協会連絡協議会主催により、「第64回足柄上郡総合体育大会」が開催され、上郡5町の各町代表チームは総合優勝を目標に11種目を競い合いました。大井町は2年ぶりの優勝を目指して大会に臨み、選手団の健闘のすえ見事総合優勝に輝きました。



総合順位

- 優勝 大井町 40.0 ポイント
- 準優勝 開成町 36.5 ポイント
- 3位 山北町 32.0 ポイント
- 4位 松田町 31.5 ポイント
- 5位 中井町 16.0 ポイント

種目別優勝

バドミントン・陸上競技

他男女別種目優勝

女子ソフトボール、女子バレーボール

お誕生日
おめでとうございます

遠藤 モトさん
(99歳・宮地)

8月11日撮影





ヘルメットをかぶって



「訓練訓練。地震が発生しました。先生方の指示を聞いて、安全な場所に避難しましょう。」保育園中に放送が入り、園の中は真剣な子どもたちの顔でいっぱいになります。乳幼児の部屋からは泣き声も聞こえてきます。大井保育園では、毎月一回、災害に備えて避難訓練を実施し、命の大切さや命を守るための避難方法を身に付けようと皆で努

力をしています。

昨年度、子どもたちがより安全に避難できるようにと、保護者会の皆さんのお力添えによってヘルメットを購入することができました。当初、子どもたちの頭のサイズに合うか、上手に素早くかぶることができるとか心配だったので、子どもたちの順応性は素晴らしい、3〜5歳児は慣れると、自分から進んで素早くかぶることができました。子どもたちは衝撃に強く人の話も良く聞こえる、安全で快適なヘルメットをかぶり、**おかしも**の約束を守って訓練に取り組んでいます。**※（おさない、かけない、しゃべらない、もどらない）**



まなびやそうわ

No.5 相和幼稚園



夏季保育（長期休業保育）の取り組み

相和幼稚園の特色ある取り組みの一つとして、本年度より長期休業中の夏季保育を実施しました。この夏季保育は7月の午前中、8月の9〜14時に、希望者のみの参加で、園児の送迎は保護者をお願いしています。本年度は初めての試みでしたが、多くの園児たちが参加しました。



保育内容としては、夏にふさわしくプールでの水遊びを中心に行い、子どもたちが大好きな絵本の読み聞かせなども取り入れて実施しました。今年度は夏休みに入ってから猛暑が続きましたから、子どもたちはプールでの水遊びに大満足していました。

夏季保育は基本的にクラスを取り除いた全員で遊ぶので、子どもたち同士もこれまで以上に仲間意識をもって意欲的に活動します。年長さんが年少さんに遊び方を教えたり、お互いに学びあったりしながら楽しいひと時を過ごすことができました。

夏祭り

楽しい思い出がたくさんできました



7月11日(土) 天候にも恵まれ、相和幼稚園の夏祭りが盛大に行われました。夏祭りに向けて、子どもたち一人ひとりが思い描いた図柄の提灯が夏祭りの会場をにぎやかに飾ってくれました。また、保護者や地域の皆さんに事前準備をはじめ、当日の運営も全面的に協力をいただいています。中学生もボランティアとして参加していただきました。お神輿担ぎでは、相和小学校の小学生も多数参加して、祭りを盛り上げてくれました。幼稚園の夏祭りではありますが、地域の幼児・児童・生徒、さらに保護者、地域とのつながりを深めていく行事としてこれからも工夫を重ねていきたいと考えています。

町長 発詞

夏の甲子園大会から



町長 間宮恒行

今年で100年目を迎える全国高等学校野球選手権大会が、8月6日に全国49校参加のもと始まった。

第1回大会は、東北・東海・京津・関西・兵庫・山陽・山陰・四国・九州の9地区での予選大会勝者チームと、春の東京都大会で優勝の早稲田実業の10校によって豊中球場で開催された。完全な野球規則がなかったため11カ条の規則が決められた。優勝校には優勝旗、全選手に参加章が贈られ、旅費は朝日新聞が負担しての大会であった。全国中等学校野球大会というものの関西圏以南が中心のように思われる。時の優勝校は京都一中で、現在の京都府立葛城高等学校である。それにちなんで梅谷主将が今大会の選手宣誓をしたのである。

大正13年の第10回大会は、阪神甲子園球場が完成し、指定席券が発売され代表校は19校であったが、大球場が超満員、札止めとなり、今日の大会の様相を呈するようになっていた。

昭和16年の第27回大会は戦局の深刻化に伴い、文部省次官通達により地方大会平ばで中止となった。昭和17〜20年は、第二次世界大戦のために中絶した。昭和21年には、全国中等学校連盟を結成し、朝日新聞との共催で阪急西宮球場で大会が再開さ

れ、19校の参加から混雑商業が戦後初の優勝をした。

昭和24年の大会では湘南高校が全国制覇をしている。この大会には、後に野球評論家でも名解説者、佐々木信也が選手として参加している。元県知事の岡崎洋氏や我が恩師諏訪恒方先生も同級生として喜びを分かち合ったと語られていた。

我が青春時代、昭和35年には法政一高が全国制覇した。今でも白黒テレビに囁り付きピッチャー柴田勲を応援した記憶がよみがえる。

そんな高校野球には「甲子園には、魔物が棲んでいる…」という、※感言がある。一度だけのチャンスのトーナメント方式では、一球、ワンプレーで試合の流れが変わり大逆転を引き起こす。また、審判への執拗な抗議がタブーの高校野球では、判官びいきや誤審が試合を左右したこともあり、毎年多くのドラマが誕生している。

甲子園は、高校生らしいキビキビしたプレーと規律・礼儀の下、素晴らしい試合で観客を感動させている。そして多くのスター選手を育ててきた。今年も清宮幸太郎選手をはじめ多くのスタープレイヤーが誕生した。彼らには日本で、世界で、そして五輪で活躍して欲しいものだ。

※いましめとなる短い句。教訓の意味をもった短い言葉



燃えろ!スポーツ魂

皆本文選手の2015年上半期の入賞歴

- 2月 首都圏大会 優勝
 - 3月 春季トーナメント 準優勝
 - 4月 横浜青少年空手道選手権大会 優勝
 - 5月 風林火山空手道選手権大会 3位
 - 静岡カラテトーナメント ベスト8
 - 6月 新実践武道空手道交流会 優勝 (大会最優秀選手)
 - 関東実践空手道選手権大会 3位
 - チャレンジカップ河口湖 準優勝
 - 7月 全関東空手道選手権大会 準優勝
- ※ すべて極真空手ルール
- 8月からも流派や相手を選ばず、ルールさえ同じならばどどん試合をしていきたいです。



覇道會館伊与田道場
皆本文選手 (7月 国立代々木第二体育館にて)

第35回辻堂杯 U-9 サッカー大会 優勝

8月8日(土) 藤沢市立辻堂小学校グラウンドで、第35回辻堂杯 U-9 サッカー大会が行われ、エスペランサ FC は決勝戦で、強豪のハマリオ SC を 3-0 で下し見事優勝しました。



部員募集しています。特に小学1・2年生、幼稚園生、女子、大歓迎です。現在、リフティング1000回以上できる部員が5人います。エスペランサFCで全国レベルを目指しましょう。

エスペランサFC ☎ 090-6105-1974 (松村)

9月10日～16日は、
自殺予防普及週間です

今月は、
三留奈津子
保健師です



自殺予防週間とは

自殺はかつては個人の問題、個人の責任とされることが多かったようですが、自殺をされた方の多くが、最終的にはうつ病などの心の病気にかかっているながら、適切なケアを受けていなかったことや心の病に至るまでにさまざまな状況や社会問題の影響を受けていたことがわかり、今では、自殺を個人的な問題ではなく、自殺問題には社会的取り組みが必要であるという考え方に大きく変わりました。さまざまな状況・社会問題には、仕事・収入・住居・介護や育児・からだの病気・事故や災害などが含まれます。それらの問題が複数重なりあうことも多いのです。

自殺対策は、これらの問題を解決し、住んでいる町をよりよい町にすることや、すべてのひとが安心して暮らすことができる町にすること以外にないのです。

自殺に傾いている人のこころの状態

自殺に気持ちがある人、自殺に傾く人は、こころの病の影響もあって、気持ちの余裕がなくなり、視野が非常に狭まります。その結果、考え方が極端になり、自殺が唯一の解決法だと思ってしまうのです。しかし、多くの人は、「死にたい」ではなく、困難な問題や苦痛から抜け出したい、そのことを「終わらせたい」と考えています。また自殺に傾く人でも自殺を決意しているのではなく、実際には「生きること」と「自殺をすること」の間で常に気持ち揺れ動いています。そして、何らかの方法で助けを求めるシグナルをだしているのです。そのシグナルを何とかキャッチして、自殺の予防につなげたいものです。

～周囲が気づくサインの例～

自殺予防の十箇条(次のようなサインを数多く認める場合は、自殺の危険が迫っています)

- ①うつ病の症状に気を付けよう(気分が沈む・自分を責める・仕事の効率が落ちる・決断できない・不眠が続く)
- ②原因不明の身体の不調が長引く
- ③酒量が増す
- ④安全や健康が保てない
- ⑤仕事の負担が急に増える・大きな失敗をする・職を失う
- ⑥職場や家庭でのサポートが得られない
- ⑦本人にとって価値のあるもの(職・地位・家族・財産)を失う
- ⑧重症の身体の病気にかかる
- ⑨自殺を口にする
- ⑩自殺未遂におよぶ

出口さがしをお手伝いできる相談機関のご案内

- 県民むけ
こころの電話相談 ☎0120-821-606
平日9時～21時(受付20時45分まで)
横浜いのちの電話 ☎045-335-4343 365日24時間
川崎いのちの電話 ☎044-733-4343 365日24時間
東京自殺防止センター ☎03-5286-9090 20時～翌6時
- 勤労者むけ
働く人のメンタルヘルス相談(かながわ労働センター)
☎045-633-6110 予約制・面接相談のみ 毎週火曜日
13時30分～16時30分
メンタルヘルス対策支援センター(神奈川産業保健推進センター内) 電話・面接 ☎045-410-4761 平日9時～17時30分
メール相談 mental-sien@sanpo-kanagawa.jp
- 学校におけるいじめ いじめ110番電話相談
神奈川県立総合教育センター ☎0466-81-8111 365日24時間
- DV相談 かながわ県民センター窓口 ☎045-313-0745
土日・祝日の金曜日を除く9時～21時
かながわ女性センター窓口 ☎0466-27-9799 月曜日・祝日を
除く毎日 9時～12時/13時～17時(木曜日は12時まで)
- 多重債務相談 横浜弁護士会 ☎045-211-7700
予約受付9時30分～17時 面接無料
神奈川県司法書士会 ☎045-641-1372 木曜日(予約制・面接)
☎045-641-1389 13時～16時(電話)
- 法律相談 法テラスコールセンター
☎0570-07-8374 平日9時～21時 土9時～17時
- 自死遺族の集い 神奈川県精神保健福祉センター(相談課)
☎045-821-8822

(ゲートキーパー手帳より)

まちの文芸

短歌

零といふ 数字が零に あらぬこと

見せてくれたり 高校野球

露木 順子

翔ぶ鳥の イメージにといふ 体操に

今朝はま白き 富士山めぐる

田中 武子

待つほども なく今朝啼けり 遠き代も

「テッペンカケタカ」 かかることして

奥津 弘子

俳句

おほる俳句会

新じゃがの 笑顔が多し 土豊か

勝木 澄子

仏壇の ははの笑顔へ 百合の花

北村千恵子

みどり児の 愛しき瞳 新樹光

二上 光子

風拾う 睡魔忽ち 夏の夢

加藤 春江

七夕を飾り 余生をふくらます

石井千代子

サイダーの 泡の向こうに

少年期 小野 菊土



図書館だより

◎開館時間 9:00～17:15 ◎休館日 大井町図書館 14日(月)・28日(月)

◎問い合わせ 大井町図書館 ☎ 83-5409 そうわ会館図書室 ☎ 85-1601

New Books ▶▶▶

【一般書】

『織田信長 覇道の全合戦 生涯全合戦を徹底分析』
廣済堂出版

『里山のつる性植物 観察の楽しみ』
谷川栄子／著 本間秀和／写真 NHK出版

『氷川丸ものがたり』
伊藤玄二郎／著 かまくら春秋社

『プロ野球「戦後70年史」』
ベースボール・マガジン社

『だから、ぼくは農家をスターにする「食べる通信」の挑戦』
高橋博之／著 CCCメディアハウス

『流』
東山彰良／著 講談社

『一〇三歳になってわかったこと』
篠田桃紅／著 幻冬舎

『親の認知症に気づいたら読む本』
杉山孝博／監修 主婦の友社 そうわ会館に入荷

『短時間で作れる!焼かないケーキ』
森崎蘭香／著 日東書院本社 そうわ会館に入荷

『院内カフェ』
中島たい子／著 朝日新聞出版 そうわ会館に入荷

【児童書】

『北条早雲』
加来耕三／企画・構成・監修 ポプラ社

『ガザ 戦争しか知らないこどもたち』
清田明宏／著 ポプラ社

『日本の伝統文化 和食』全6巻
江原絢子／監修 学研教育出版

『周期表 ゆかいな元素たち!』
エイドリアン・ディングル／ダン・グリーン／文
玉川大学出版部

『ウミガメいのちをつなぐ岬』
櫻井季己／文・写真 少年写真新聞社

『100年後の水を守る』
橋本淳司／著 文研出版

『じゃんけん学 起源から勝ち方・世界のじゃんけんまで』
稲葉茂勝／著 今人舎

『とびぼこバーン』
升井純子／作 講談社

『踊る光』
トンケ・ドラフト／作 西村由美／訳 岩波書店

『雑木林の一年』 向田智也／作 小学館

☆こちらで紹介した本は、新しく入った本の一部です。最新の情報は、図書館ホームページ [http://www.oitown-lib.jp/] をご覧ください。

▶▶▶ Event & Information

● 9月の展示

『第153回芥川賞・直木賞』

芥川賞(『火花』又吉直樹／著)、『スクラップ・アンド・ビルド』
羽田圭介／著、直木賞(『流』東山彰良／著) 受賞作家の本や、
候補になった作家の本を展示します。

『防災の本』

9月1日は防災の日。防災に関する本を展示します。

『大活字本』

大活字本とは、通常の本よりも大きな活字で印刷されている本で、弱視の方や高齢の方におすすめの本です。所蔵している大活字本(書庫の本も含む)を展示します。

● 9月のおはなし会

5日(土) (絵本)	あくたれラルフ
(絵本)	たんじょうび
12日(土) (絵本)	さーかす
(絵本)	サリーのこけももつみ
19日(土) (絵本)	つきのぼうや
(絵本)	しょうぼうていハーヴィー ニューヨークをまもる
26日(土) (紙芝居)	ゆうくんだいすき
(絵本)	こびととくつや

時間／14:00～14:30 場所／大井町図書館 おはなしのへや

● 親子いっしょのおはなし会

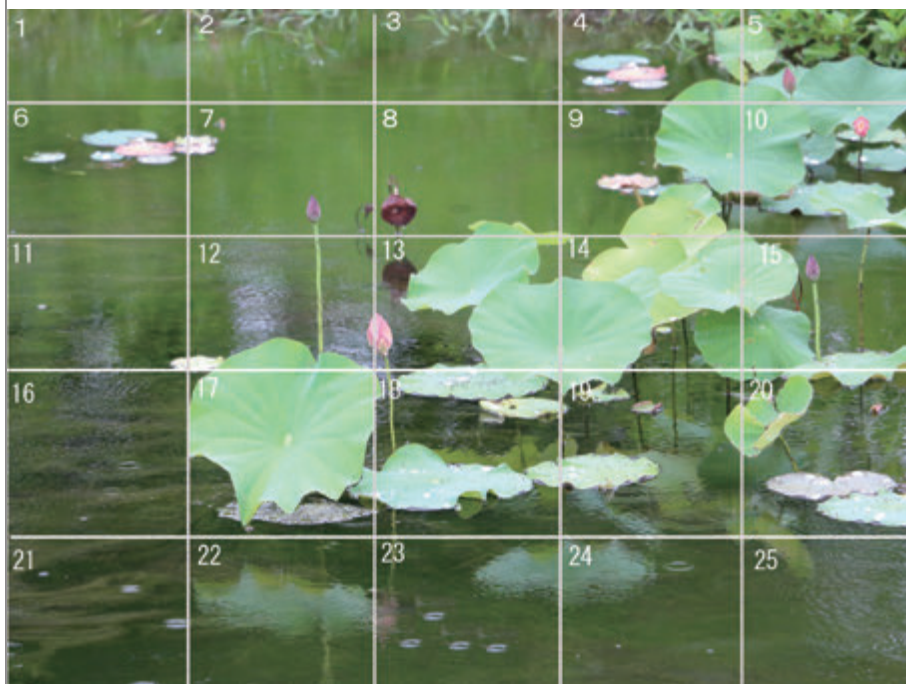
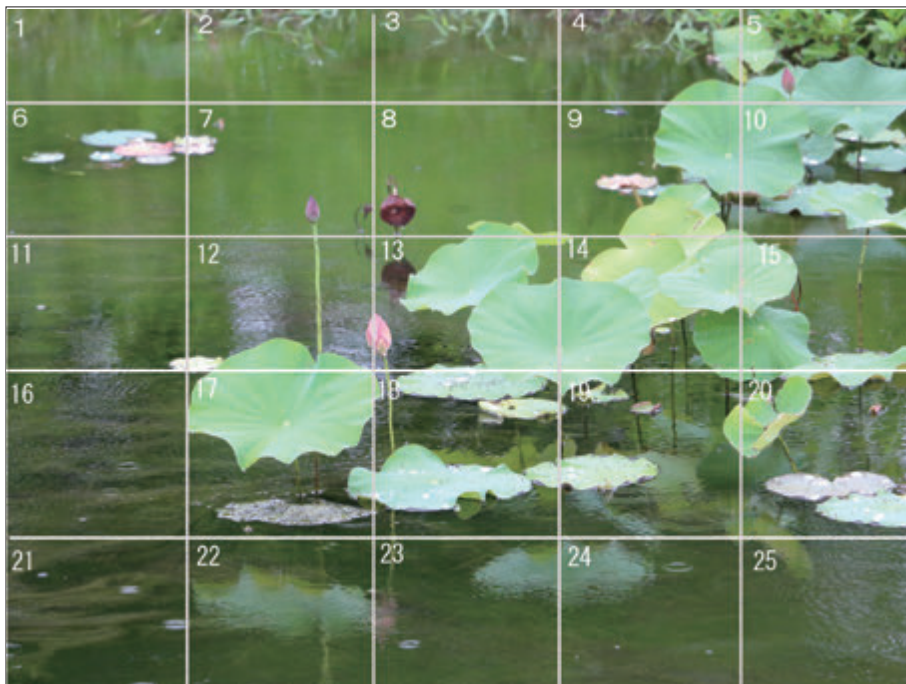
9月10日(木) 10:30～11:00
場所 大井町図書館 おはなしのへや
対象 就園前のお子さんと保護者

聞きにきてね!



おたより紹介

- 金子児童公園が芝のきれいな皆があつまるところになるといいですね。(野菊)
- 国勢調査 2015 が実施されます。インターネットをあまり触らないので少し気になります。(はなちゃん)



Q まちがいきがしに 挑戦!

写真は、せせらぎ散策路のチャワンハスの様子です。上と下の写真は、比べると違っているところが5か所あります。どこでしょう？写真の数字で教えてください。

■応募方法

はがきに、答え・住所・電話番号氏名(ペンネーム)・年齢・日ごろ思うこと(町への意見や広報おいへの感想などなんでもOK)を記入して応募

あて先 〒258-8501

足柄上郡大井町金子 1995 番地
大井町役場 町民課
広報おい係

締切 9月15日(火)

○応募者の中から、抽選で2名の方に粗品をプレゼントします。

○8月号の答え

3・10・11・21・24

○当選者 (応募12通)

ケンキューさん、ユウケンさん
おめでとうございます!

<http://www.kayanuma.net>

足柄上リフォーム

無料体験学習中!

自立支援 個別学習塾

NOTE NEXT

ノート ネクスト

TEL 0465-43-9240

<http://note-next.com>

個別学習塾ノートネクスト

〒258-0018 大井町金手 11-8

オータムジャンボ

1等・前後賞合わせて **宝くじ**

5億円

1等・前後賞合わせて

1等/3億円 前後賞各/1億円

発売期間

9/28日~10/16日

宝くじに関するお問合せ ☎03-3535-9085
この宝くじの収益金は市町村の明るいまちづくりや環境対策、高齢化対策など地域住民の福祉向上のために使われます。公益財団法人 神奈川県市町村振興協会



9月の行事予定

Schedule of September

日程	事業予定	場所
1日(火)	ぞうさんくらぶ(9:30～)	保健福祉センター
2日(水)	乳がん・子宮がん検診(予約制)	保健福祉センター
3日(木)	広報づくり研修会(第2回)	生涯学習センター
5日(土)	郷土歴史講座	生涯学習センター
6日(日)	町民ソフトバレーボール大会(9:15～)	総合体育館
7日(月)	乳がん・子宮がん検診(予約制)	保健福祉センター
9日(水)	相和幼稚園公開保育	相和幼稚園
10日(木)	親子いっしょのおはなし会	図書館
	赤ちゃん健康相談(9:30～)	保健福祉センター
11日(金)	絵本とわらべうたの会	生涯学習センター
	3歳児健診(13:00～)	保健福祉センター
12日(土)	子どもキャンプ～13日(日)	
14日(月)	エンジョイ!マタニティ(13:00～)	保健福祉センター
	のびっこくらぶ(うさぎさんグループ)	保健福祉センター
16日(水)	親子相談(13:00～)	保健福祉センター
17日(木)	乳がん・子宮がん検診(予約制)	保健福祉センター
	総合相談(10:00～)	役場
18日(金)	ニューススポーツ講習会(19:30～)	総合体育館
	2歳児歯科検診(13:00～)	保健福祉センター
	のびっこくらぶ(りすさんグループ)	保健福祉センター
19日(土)	おおい自然園「自然観察講座」	
	大人の竹細工教室①	生涯学習センター
23日(水)	せせらぎ親子農業体験ウォーキング・田んぼ体験	金手
24日(木)	赤ちゃん健康相談(9:30～)	保健福祉センター
	一般健康相談(9:30～:予約制)	保健福祉センター
25日(金)	絵本とわらべうたの会	生涯学習センター
26日(土)	大人の竹細工教室②	生涯学習センター
27日(日)	町民フットサル大会(9:00～)	ブルックスグラウンド
29日(火)	1歳6か月児健康診査(13:00～)	保健福祉センター

人口と世帯数 7月31日現在 ()内は前月比

- 人口 男性 8,629人 (6)
女性 8,588人 (4)
合計 17,217人 (10)
- 世帯数 6,624世帯 (10)

お誕生おめでとう 7月16日～8月15日受理

氏名	性別	保護者	自治会
田中 麗暖	女	智可良・蘭香	新宿
菅原 祥太郎	男	健太郎・なぎさ	新宿
北園 天羽	女	賢一・里恵	河原
村田 愛果	女	誠・友唯	根岸上
星田 勘太郎	男	拓郎・明子	上大井
松尾 英太	男	正英・歩美	上大井
白石 鯉大	男	秀一・幸子	上大井
稲葉 湊	男	直樹・友里	上大井

希望者のみ掲載(敬称略) 掲載8件/届出9件

町内交通事故発生状況

- 件数4件 ●死亡0人 ●負傷5人

漏水修理当番 生活環境課 ☎85-5011

8月30日～9月5日	石澤管工事	☎83-4533
9月6日～12日	矢口水道工業	☎82-4069
9月13日～19日	西湘設備工業	☎82-9916
9月20日～26日	平石設備工業	☎82-4711
9月27日～10月3日	木村設備工業	☎83-5053

- ・宅地内の漏水修理代金は、自己負担です。
- ・土日・祝日の開閉栓はできませんので、引越しをする方は早めに連絡をしてください。

今月の納付

- 保育所保育料9月分
- 上下水道使用料7・8月分
- 下水道受益者負担金2期分
- 幼稚園保育料10月分
- 国民健康保険税4期分
- 介護保険料3期分
- 住宅使用料10月分
- 後期高齢者医療保険料3期分

今月の口座振替日は9月30日(水)です。



税・料金の納付には
安心便利な口座振替を!

(広報担当 Y)

編集おおい

今月の広報おおいには600号記念ということで、全ページカラーで作成しました。大井よさこいひょうたん祭やチャレンジウィークなどの様子もいつも以上に伝えられたのではないかと思います。また、過去の広報紙を調べてページを作成しました。作成していくなかで大井町の歴史を感じることができました。平成12年4月からの広報紙を町ホームページで閲覧できますので、皆さんも過去の広報紙で大井町の歴史を感じてみませんか。

大井の

煌人 キラビト

「子どもたちに
未来を見せたい」

大津 孝佳さん
(金手)



充電式の単3電池40本を動力とした車両レース「Ener-GP」が8月に鈴鹿サーキット(三重県)で開催された。電気自転車レースには、大井町から神奈川県初出場となる2チーム、3人の中学生が出場し、高校・中学生部門で準優勝の好成績を収めた。

電気自転車の技術指導をしたのは、沼津工業高等専門学校教授の大津孝佳さん。教育の一環として子どもたちを出場させたいと、地域の方から話を聞き、協力することになった。「青少年指導員をはじめ地域の人たちが一生懸命にやってくれた。子どもたちもいい経験ができたのでは」と話した。11月に茂木町(栃木県)で行われる大会にも出場する予定。

また、8月19日に行われた「3Dブロックであそぼう」の講師も務め、ブロックを使ったロボット作りを教えるなど、子どもの創造教育活動も行っている。「課題を見つけ、解決し、発見することが創造」「ロボットで創造教育がしたい」と話した。

「この地域には新しいものを生み出せる産業がたくさんある。地域を担う人材を育てたい」と、子どもに向ける思いは強い。

Profile プロフィール

大津 孝佳 (おおつ・たかよし)

金手出身

大学卒業後、日立製作所勤務を経て、5年前に鈴鹿工業高等専門学校の教授となる。4月より沼津工業高等専門学校電気電子工学科教授。三重県教育委員会社会教育委員も務める。

趣味は、釣り、旅行。

おおい
自然園

暗緑色の脈の入った
トーナール岩

No.64



▲ 線状の模様が入ったトーナール岩 (右側の黒色部分は捕獲岩)

酒匂川の河原で、写真のような黒っぽい線が多く入った岩石を目にする場合があります。このような線は、変形運動の激しい地域の岩石によく見られるものです。この岩石は、以前も紹介しましたが、丹沢山地によく見られるトーナール岩

(花崗岩の仲間)です。約500万年前に、丹沢山地の地下数kmに大量の花崗岩質マグマが入り込んできました。そこで、マグマがゆっくりと冷え固まり、全てが鉱物からできた結晶質の岩石になりました。その後、丹沢山地を変形させるような強い力がはたらき、丹沢層群中のトーナール岩を破砕しました。ただ、トーナール岩は地下の深い所にあり周りからの圧力が強かったために、鉱物は細かく粉砕されましたが、しっかりと固結した岩石になりました。粉砕された部分は、暗緑色の微細な粘土鉱物になり脈状に伸びています。粘土鉱物の集合した脈の中には、もとの鉱物や岩石片が残っています。

中村 俊文(開成町立文命中学校校長)

毎月1日発行/発行部数6,200部

広報おおいには再生紙を利用しています

■発行/大井町 編集/町民課
〒258-8501 神奈川県足柄上郡大井町金子1995番地

☎0465-83-1311 ホームページ <http://www.town.oi.kanagawa.jp/>